

Vol. 18
春・夏号

うみべの森通信

2009. 9. 1. 発行
うみべの森を育てる会
代表)西台 幸子
090-3942-0902



うみべの森の春は
たくさんの花が咲き
たくさんの鳥が
さえずります



梅雨の雨を
たっぷり吸い込んだ地面が
緑いっぱいになると
生き物達が大好きな
夏を迎えます



左上) ヤマザクラ 右上) カブトムシ♂
中央) 何十匹ものトンボが木に!
左下) コクワガタ♀ 右下) トキワハゼ
(写真: 柴田、立石、傳)

**植物調査
始めました!**
うみ森の植物を
調査します



カンサイタンポポ



ヒメハギ



クサイチゴ

細井クラフトリーダーの作品も展示

2009.5.5.

「阪南市こどもの日フェスティバル」出展

フェスティバルに出展される『自然と本の会』さんより「一緒に」とお声掛け頂き、サラダホールで活動記録のパネル展示と木の名札づくりをしました。雨模様の為、室内での体験に人気が集まり、材料を追加調達に走らなければいけないくらい、たくさんの子ども達が名札作りチャレンジしてくれました...



鍋島先生の楽しく分りやすい説明



2009.5.19.

「第2回大阪湾生き物一斉調査」サポート

昨年に続き大阪湾環境再生連絡会主催のイベントに、水産技術センターの鍋島先生、大阪湾岸生物研究会の山下先生・唐沢先生指導の下、一般参加者37名を地元担当団体として、ハーブタペストリー・香の会さん、自然と本の会さん、釣り文化協会さん、海藻おしばくらぶさんと共にサポートしました。午後からは講師の先生による採集した生物の詳しい同定調査に会員有志が参加して、小学生サポートに参考になるような有意義なお話を伺うことが出来ました...

2009.7.25.

「竹で水てっぽうをつくろう！」イベント開催

お子さん対象の夏休み工作イベント、今年は「竹工作」。水てっぽうと竹風鈴、竹ぼっくりを準備しました。お子さんと一緒に参加下さった若いパパやママも大活躍。子ども達と一緒に水てっぽうで遊んだり、お子さんの手をとって一緒にノコギリで切ったり。スタッフのアドバイスにも一生懸命耳を傾けて下さり、楽しく和やかな雰囲気イベントとなりました。表紙のトンボの写真は、この日観察されたもの。参加の皆さんもたくさんのトンボにびっくり。イベントに加えて夏の思い出になってくれたことでしょう。

水てっぽうを試し撃ち!



植物調査は...
興味をお持ちの
会員さんは
どなたでも
ご参加いただけます



アカバナユウゲショウ



コナスビ



スイカスラ



ヒメコウソ



ムラサキニガナ



ネジバナ

植物調査の写真

P.2上) 4/23
P.2下) 5/28
P.3上) 6/25
P.4下) 7/23

遊来の滝



2009.5.26. 於:田山川

箱作小学校4年生「田山川の水生物調査」

例年通り3箇所に分かれて観察しましたが、いずれの観察地点も生き物が少なく、種類も減っているように思われました。いつまでも子ども達が勉強に来てくれるような、自然が豊かな川であることを願いつつ、子ども達と一緒にゴミ拾いをして観察を終了しました。

2009.6.1. 於:うみべの森

箱作小学校1年生「自然とのふれあい」

今年はサナギになりかけのカブトムシの幼虫がたくさん見られました。サナギになる途中でカビで死んだ幼虫もあり、子ども達には自然の厳しさの勉強にもなったことと思います。養殖床へのチップのバケツリレーには、付き添いのお父さんが一役買って下さり、子ども達も一層頑張っって何度もバケツをリレーしてくれました。

バケツリレー、よいしょ!



何がいるかな?



2009.6.4. 於:箱作西浜

箱作小学校2年生「磯の生き物観察」

大阪湾では貴重な自然海岸が自分達の学校の近くにあり、磯の生き物や海浜植物に触れてみる事が出来るという、大変幸運な子ども達ですが、やはりここでも観察されるカニが年々減っているようです。生き物と触れ合った子ども達は、生き物が棲みやすい環境を願って、一生懸命ゴミ拾いをしてくれました。



ハマボウ



アカメガシワ



イヌザンショウ

植物調査は…

毎月第4木曜
10:00~12:00
少雨決行です!
(詳しくは毎月のお知らせで)

ようこそ！ うみ森へ

シニア自然大学同窓会：12名の皆さんが、うみ森をご訪問下さいました。整備された散策路やピオトープ、大きなカブトムシの幼虫に感嘆して下さいました。自然活動に興味をお持ちの方々が、私たちの活動に関心を持って頂き「行きたい」と仰って下さることはとても嬉しいことです。(4/28)

「里海ウォーキング」：阪南地区公民館利用者連絡協議会・主催で41名の方が来訪。ハーブタペストリー・香の会さんと協働で案内のサポート。5月末から次々と開花している、うみ森自慢のささゆりを観賞して頂きました。また、開花中は一般来園者へのささゆりのご案内と柴田植物リーダー作成のささゆりの写真ハガキをプレゼントする「ささゆりまつり」を行いました。(6/7)

「関西もっという旅」：NHKのTV番組で岬町が取り上げられ、うみ森も取材を受けました。岬町・望海坂子ども会の小学生と一緒にカニやウミホタルの観察をする様子と、森生物リーダーの「自分の住んでいるところを好きになって欲しい」というコメントが放映されました。放映後「うみ森への行き方は？」という問合せが何件もあり、TVの影響力を実感しました。(7/12)



泉佐野丘陵緑地運営委員：昨年に引き続き、本年度もうみ森での活動の経験を生かして協力をして頂きたいとの要請を受け、西台代表が会議に参加されます。

水生生物観察網：河原副代表より10本ご寄付頂きました。早速小学生のサポートで使わせて頂きました。ありがとうございます！

・今年は昨年より30以上も多い138輪の開花が見られました

ありがとう！

古野しいたけさん(阪南市)：今年もご好意により、しいたけ栽培で不要になったホダ木をご提供頂きました。カブトムシの養殖床に補充させて頂きました。いつもありがとうございます！

お知らせ

平成21年度 運営委員

代表：西台 幸子
副代表：川岡 正憲
立石 弘一
河原 美也子
会計：樋口 清久
書記：傳 雅子
森管理R：中川 正廣
クラブR：細井 日出男
植物R：柴田 正
生物R：森 芳之
会計監査：前田 津根代

本年度も
よろしく
お願い
致します。

「泉州環境サミット」：大阪府岸和田土木事務所尾崎出張所の呼びかけで、金熊寺川を拠点に泉州の環境について考え活動する集まりです。今年度より不定期で開かれており、泉州地区で活動されている各団体と共に、当会も参加のお声が掛かりました。講演会や生き物調査の実習などがあり、各方面の専門家の先生方にご教授頂ける為、うみ森での活動に持ち帰って役立つよう有志の会員が参加しています。

植物調査：本年度より毎月1回行っています。今後のイベントや会員の皆さんの勉強会などに役立てる為、顧問の上久保先生にご指導頂いて、資料を作成していきます。興味のある方はどうぞご参加下さい！(P.2~3の上下に写真を掲載しています)



新入会員 ご紹介

会員

小島直美さん

賛助会員

加藤和子さん

どうぞ、よろしく！

会員を募集しています！！

定例活動：毎月第1火曜、第3日曜、
第4土曜 9:30~15:00
不定期でイベント・サポート
会 員：入会金500円(初年度のみ)
年会費1,000円、保険500円
賛助会員：年会費1,000円のみ

自然の中での活動に
興味がある方大歓迎！



編集後記

うみ森通信は、立石副代表の活動記録をもとに構成し、西台代表に校正して頂き、森リーダーに綺麗にカラーコピーして頂いたものを、皆さんのお手元にお届けしています。うみ森の豊かな自然と、楽しい活動の様子が伝わるといいなあと、毎回祈るような気持ちです！ (T&D)